

定性情報を危険度で判断「フェーズ」

# Phase

# 1.フェーズとは？

フェーズとは、日々配信される各種企業情報に、過去の発生情報も加味しながら、独自のモデルにてスコアリングを行い、「1～5」の5段階で現状の「危険度」を提供するサービスです。定点観測では捉えきれない日々の信用リスクの変動を数値化し、「わかりやすく」、「低コスト」にてご提供しております。

フェーズ別に見た、弊社推奨の行動モデルは以下のとおりとなります。

<b>Phase-1</b>	情報を精査し、営業担当へ注意喚起、取引状況確認
<b>Phase-2</b>	債権残・支払条件・保全状況の詳細把握 信用調査の検討・実施
<b>Phase-3</b>	保有する債権の保全、今後の取引方針の協議
<b>Phase-4</b>	100%の保全なしでの取引継続は控える
<b>Phase-5</b>	万が一の場合に備えた方針での取引

## 2. フェーズの導入メリット

フェーズを導入することで、以下のようなメリットが期待されます

### コスト削減

継続取引先の定期的な調書取得やモニタリングは、与信管理コストの中でもウエイトの高い部分かと思えます。フェーズを導入することで、その回数や対象先を縮減することが可能になります。フェーズは低いコストで導入できるサービスですので、管理対象先が今後増加したとしても、大きな費用負担とはならないため、より管理体制に「網羅性」をもたせることが可能となります。

### 作業効率化

与信管理業務に従事されている方々にとって、情報の「精査」や「分析」はできる限り効率的に行いたいものです。フェーズを導入することで、弊社から配信する情報について、弊社側で「精査・分析」を行い「数値化」して配信いたしますので、日常業務の効率化を図ることができます。

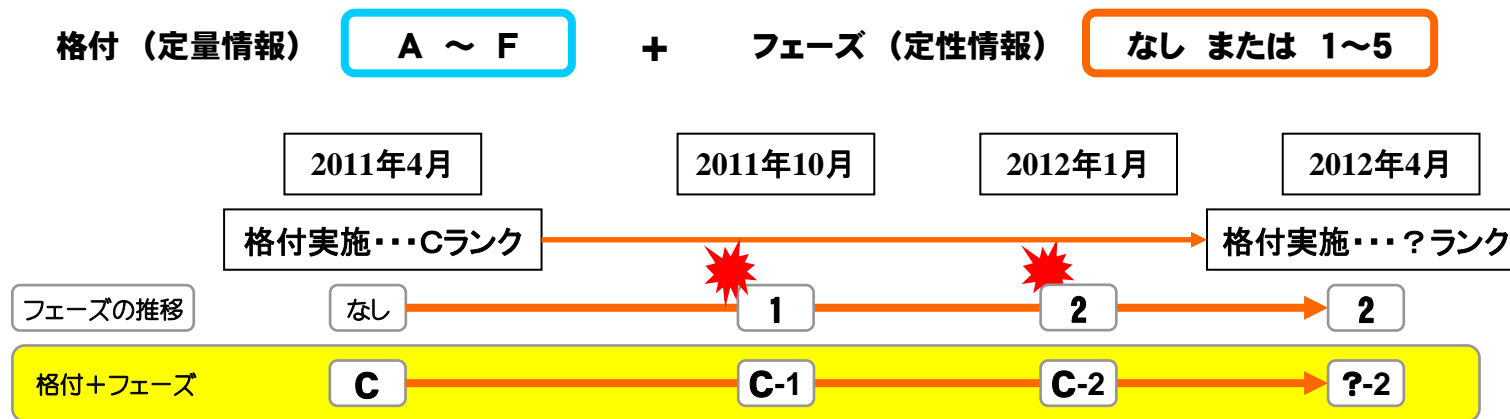
### 3. フェーズの活用事例

#### 自社での格付と連動させて活用

貴社にて取引先の格付を行っている場合、格付は基本的に「定点観測」となりますので、次回の見直し時まで信用リスクが変動する可能性があります。

格付を行った後の「経過観測用の指標」としてフェーズをご活用いただけます。

(例) 格付はA～Fの6段階としており、毎年4月に格付を見直している会社の場合

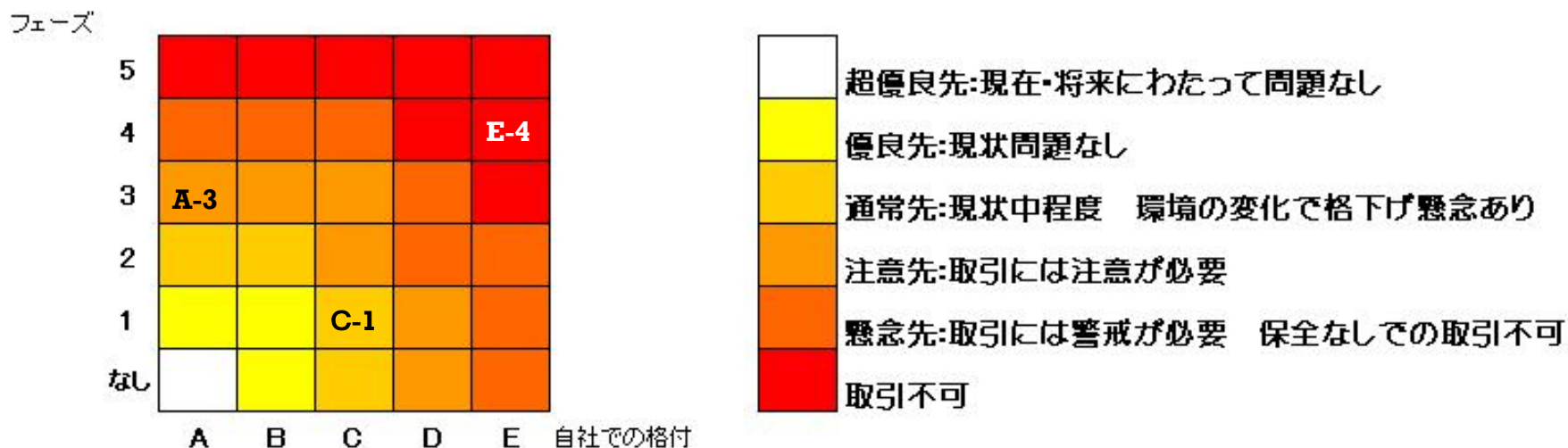


2011年4月	格付実施... Cランクと設定	フェーズ...なし	
2011年10月	情報発生...フェーズなし→1	格付をC→C-1に変更	営業担当へ注意喚起、情報収集指示
2012年1月	情報発生...フェーズ1→2	格付をC-1→C-2に変更	支払条件や債権残などを確認
2011年4月	格付実施...通常の格付作業実施後、格付時点のフェーズを反映		

上記は、「情報発生ベース」で見た活用方法ですが、リンクシステムをご利用の際には、管理対象先のフェーズが随時取得できますので、格付実施後、月毎、四半期毎、半期毎など「定期的な見直し」を行う方法にもご活用いただけます。

©2013 TOSHO Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 4.フェーズの運用イメージ



上記のように、あらかじめ「自社における格付」と「フェーズ」をかけあわせた対応表を作成しておくことで、日々の信用リスクの変動に応じた運用を行うことができます。

## 5.利用料金について

フェーズは、「リンクシステム」、「アラカルト」、「時系列情報」、「トップシークレット」それぞれの「オプション」としてご利用いただけるサービスです。

### 【利用料金(税別)】

各サービスのご利用料金に下記料金が追加されます。

#### リンクシステムにてご利用の場合

1社あたり 100円～ (月額) ※1社単位にてご利用いただけます。

#### アラカルトにてご利用の場合

月額ご利用料金の 10%

#### 時系列情報にてご利用の場合

5,000円(月額)

#### トップシークレットにてご利用の場合

10,000円(月額) ※全国版

## 6.フェーズの帳票イメージ

### 時系列情報にて閲覧の場合

<b>会社名</b>	〇〇〇商事株式会社	<b>代表社名</b>	〇田×男
<b>住所</b>	東京都中央区銀座▲-▲-▲	<b>電話番号</b>	03-※※※※-※※※※
<b>業種</b>	建築工事	<b>上場場所</b>	

発生日	情報種類	コメント	フェーズ
2007/8/18	民事再生法申請	負債総額42億1,300万円。	5
2007/3/17	不祥事	現場責任者ら計3名が業務上過失致死傷容疑で書類送検される	5
2006/10/7	焦付き	〇×工務店㈱に対し、2,400万円の不良債権発生	4
2005/10/22	仕入先撤退	仕入先A社が撤退	3
2005/9/15	支払遅延	一部仕入先に支払遅延が発生	3
2004/12/20	焦付き	××建築㈱に対し、2億6,600万円の不良債権発生	1
2002/4/15	本社移転	東京都港区青山から東京都中央区銀座に本社移転	-
2000/1/5	事業分離	〇〇〇商事関西㈱に対し、建材卸事業を譲渡	-

それぞれの情報発生ベースでフェーズを表示 フェーズなしの場合、「-」にて表示されます